

愛媛大学理学部化学科構造化学 同窓会関東支部会通信

第二号
2016. 12. 25.

◇はじめに

愛媛大学理学部化学科構造化学同窓会関東支部会総会及び懇親会

秋も深まる2016年11月12日(土)、東京都港区浜松町のみなと貸会議室にて第二回愛媛大学理学部化学科構造化学同窓会関東支部会が開催されました。お蔭様で総会、懇親会と合わせ総勢32名の同窓生にご参加頂き大いに盛り上がりました。当日は、向井先生、東先生、田嶋先生、長岡先生、垣内先生にご参加を賜りました。総会では、本関東支部代表河野会長のご挨拶、福田総務担当幹事による年間活動報告、江戸幹会計担当幹事による会計報告が行われ、今年の活動が会員の皆様に報告されました。引き続き東先生による同窓会本部の活動状況と課題、同窓生とのつながりの重要性についてお話がありました。そして、参加者全員から簡単な自己紹介を行った後、メインイベントとして愛媛大学の長岡伸一教授による「唐様で売り家と書く三代目」と題した現在の愛媛大学理学部の状況と先生ご自身の研究成果に関する大変興味深いご講演を賜りました。

その後、場所を移しイタリアンレストラン「ブラチェリアBAVA」において、懇親会が開催され、ここでもまた大いに盛り上がり、旧交を深めることができました。

◇会長ご挨拶 河野雅弘会長

第二回の構造化学講座の同窓会が、多くの方々のご列席により無事開催できることになりました。今日まで何度も幹事会を開催して準備を進めてきました。今回は長岡伸一先生に特別講演をお願いし、新たな分野に挑戦する構造化学遺伝子を受け継がれた研究の今昔をご紹介頂けそうです。関東の同窓会活動も2年目です。今後も、卒業生の人と人のつながりを大事にした幅広い交流活動を進めてゆきたいと考えておりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



◇担当幹事による運営方針説明

・平成27年度活動報告(福田総務担当幹事)

平成27年2月の第一回構造化学同窓会関東支部会(以下、支部会)を機に、会則の作成と施行、活動状況のHP掲載、幹事会の拡充、活動経費の補助などを経て、ようやく正式に同窓会活動として軌道に乗せることが可能となりました。これも理学同窓会の本部と東京支部、構造化学の先生の皆様のご理解によるものです。今後も会員の皆様と協力して魅力的なコンテンツを策定し、特に若手会員の参画を一層進めながら、支部会の活動を盛り上げていきたいと考えております。

・平成26、27年度活動報告(江戸幹会計担当幹事)

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日); 収入は、河野会長の設立資金50,000円(預り金)、第一回構造化学関東支部同窓会参加費32,000円、懇親会費80,000円、雑収入4,385円でした。支出は、同窓会運営費32,993円、懇親会費92,000円。結果期末において金41,392円が平成27年度に繰り越されました。平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日); 活動に伴う出納はありませんでした。結果、期末において金41,392円が平成28年度に繰り越されました。本結果は、友田幹事(監査人)によって承認されました。

◇構造化学の歩み(友田幹事)

・1960年代から2010年代の約50年間に亘る構造化学の歩みを約100枚の写真で綴りながら振り返りました。先生方や元学生の皆様の若かった頃が蘇ってきて、一瞬にして当時の若者に戻りました。また、約50年間という歴史ある構造化学研究室であるからこそ多くの同窓生が多方面でご活躍されていることを再認識しながら、大いに盛り上がりました。

◇愛媛大学の長岡伸一教授のご講演

タイトル；「唐様で売り家と書く三代目」

「唐様で売家と書く三代目」と題し、構造化学三代目教授長岡先生のご講演が始まりました。冒頭でご紹介いただいた理学部の近況は、我々の頃よりも生活環境が向上したようで、学部内に売店が整備され、食事もできて学生同士や教員がコミュニケーションのとれるラウンジができたとか、構造化学出身者を親に持つ次世代の学生が、鋭意、大学生活を送っているそうです。

さて、講義に関連しまして、大きく二つのトピックをご紹介します。一つ目は、直感的に分りにくい波動関数の計算結果を、Excelで描画させたことです。実際に学生に計算してもらったところ、よく知られた教科書に記載されていることと矛盾するケースが見つかり、検証結果を論文として学術誌に上梓したとのことでした。

二つ目は、励起状態の分子内プロトン移動に関する研究や、内核励起による特定の原子間結合の切断に関する研究の概要と進展についてです。聴講者で学生時代に研究テーマとして携わった方には、感慨ひとしおだったかと思います。

以前と変わらぬご調子でご講演される長岡先生からは、まったくもって「売り家」の気配は感じられず、構造化学の益々の発展を実感することができました。



◇総会風景



◇総会風景



◇参加者による近況報告



◇参加者による近況報告



◇参加者による近況報告



◇集合写真（総会、特別講演）

◇懇親会（ブラチェリアBAVAにて）

場所を移し、ブラチェリアBAVAにて親睦を深めました。なんと田嶋先生が懇親会のためにだけ大阪の学会から駆けつけてくれました。



◇幹事あとかぎ

今回の構造化学同窓会におきましては、より多くの同窓会メンバーが参加し楽しんで頂けるよう、構造化学のこれまでの歩みの紹介、長岡先生の特別講演とサプライズ還暦祝いなど、多くの企画を盛り込むことにしました。そのため、メイン会場と二次会会場の選定、具体的なタイムスケジュールの調整、参加者の増加施策など多くの点で難航しました。しかし、幹事会のメンバーも増え、各幹事の積極的な活動、および関西同窓会メンバーと構造化学の先生方のご協力により、多くの方々にご参加頂き、無事に楽しく会を進行することが出来ました。

本同窓会の準備と進行にご協力頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。次回の幹事会につきましても、これまで以上に魅力ある内容にすべく色々工夫していきたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



◇集合写真（懇親会）